

令和6年度 養護老人ホーム 被措置者数等調査結果〔サマリー〕

【調査概要】

- 調査目的：養護老人ホームの入所率や市町村の措置状況、各施設の運営状況等を定点かつ経年で把握し、いわゆる「措置控え」の解消に向けた政策提言の基礎資料とし、かつ、各施設が関係機関への働きかけるための情報提供を行う
- 調査期間：令和6年11月18日（月）～令和7年3月31日（月）
- 調査方法：メール及び郵送により依頼
本会 HP よりエクセル調査票をダウンロードしてメールにて回答
- 調査対象：全国すべての養護老人ホーム 915 施設
- 回答状況：811 施設（回答率 88.6%）

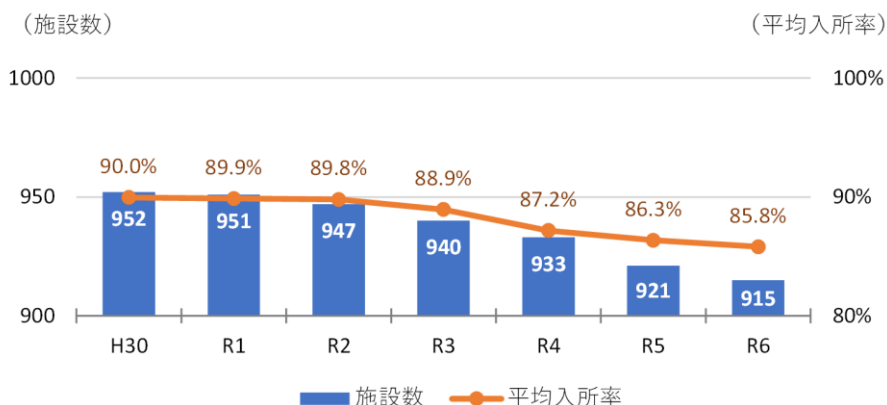
【調査結果のポイント】

- 施設数の減少が続いている中で入所率も低下し続けている状況や、1施設の年間の平均退所者数が平均新規入所者より1人以上多い状態が継続しているなど、いわゆる「措置控え」に歯止めがかかっていない実態が明らかとなった。
- 契約入所の実施率は毎年5ポイント前後、増加していた。
- 半数以上の施設で地域における公益的な取組を行っていた。多かった取組は「講座・教室・学習会の開催」、「防災・消防・福祉避難所の取組」、「地域の清掃活動」であった。

【施設数と入所率】

- 施設数は毎年減少し続けており、本調査開始の平成30年度から令和6年度までの6年間で37施設が減少した。
- 入所率は全国平均で85.8%、その中央値は92.0%であった。
- 平均入所率も減り続けており、令和6年度は平成30年度と比べ4.2ポイント低下した。

【施設数と平均入所率の推移】

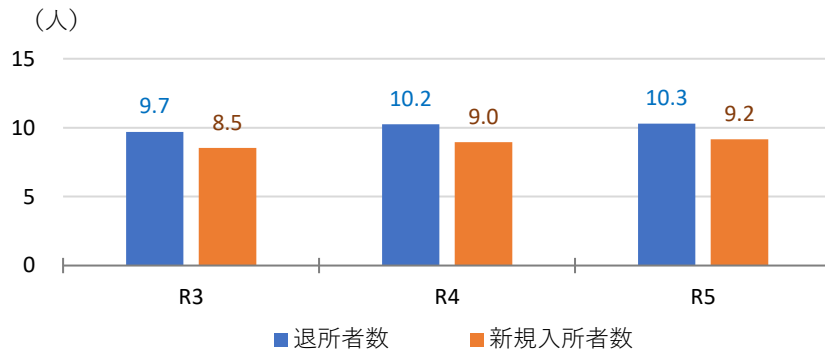


※施設数、平均入所率とも当該年度の4月1日における数値。
なお、施設数は全数である（回答数ではない）。

【定員減と入退所者数】

- 令和5年度において定員を減少させた施設は、回答が得られた811施設のうち20施設（2.5%）で、その減少した定員総数は411名（1施設平均20.6名）であった。
- 1施設の年間の平均退所者数は10.3人、同じく新規入所者数は9.2人で、退所者数の方が1.1人多かった。
- 統計を取り始めた令和3年度以降、退所者数が1人以上多い状態が続いていた。

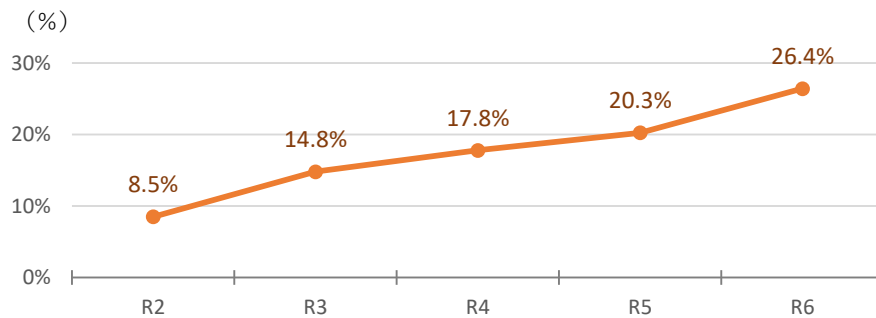
【1施設の年間の平均退所者数と平均新規入所者数の推移】



【契約入所】

- 契約入所の実施率は26.4%で、毎年5ポイント前後ずつ増加していた。

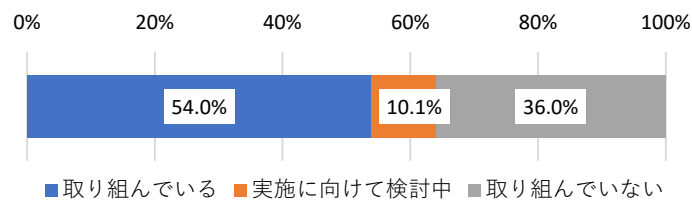
【契約入所の実施率の推移】



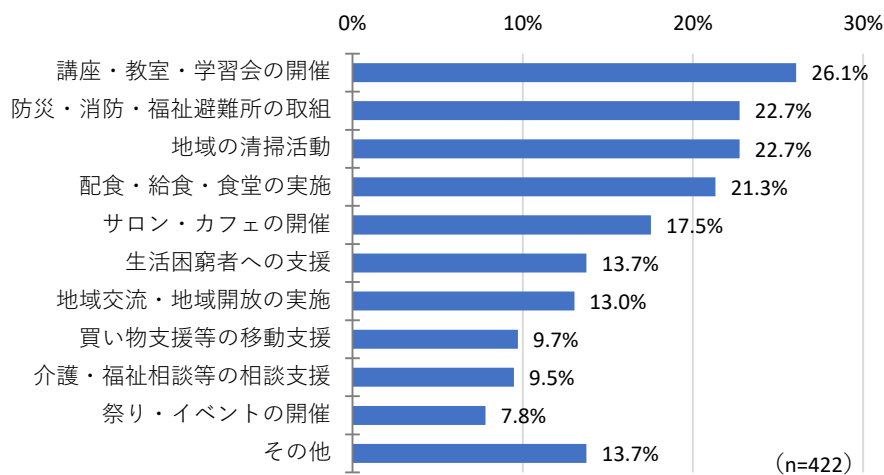
【地域における公益的な取組】

- 地域における公益的な取組の実施率は54.0%であった。
- 取組内容で多かったのは「講座・教室・学習会の開催」、「防災・消防・福祉避難所の取組」、「地域の清掃活動」、「配食・給食・食堂の実施」であった。

【地域における公益的な取組の実施状況】



【公益的な取組の主な内容】



【総括】

- 本調査結果を踏まえ、措置制度の適切な活用に向けた取組を進めるとともに、令和6年度介護報酬改定を踏まえた対応や地方自治体独自の改定など、養護老人ホームの健全な運営に向けた働きかけと協議を関係機関と継続していく。